

子どもたちの笑顔があふれ
みんなが夢を抱けるまち
＝ おおだ ＝



第2次大田市総合計画

2019 - 2026

- 概要版 -



市長あいさつ



「共に創る笑顔と夢があふれるまち」

大田市長 **榊野弘和**

平成の時代が終わりをつげ新しい時代がはじまろうとする今、大田市のこれからのまちづくりの指針となる「第2次大田市総合計画」を策定しました。

この計画の策定にあたっては、多くの若い方や女性の皆さんにご参加いただいた総合計画審議会やワークショップなど、1年以上かけて話し合いを重ね、そこでの議論を踏まえ、大田市議会での審議を経て、目指すべきまちの姿を、「子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち‘おおだ’」として、大田市の将来像に決定しました。

この将来像には、何かをやるという時には、みんなで一緒にやろう、応援しようという雰囲気があるまち、そして、いきいきとしている大人の横では子どもたちが笑い、様々な人がつながって、いろいろな夢を抱き、夢が実現する、そういうまちを目指そう、という思いが込められています。

将来像の実現に向けた基本的な姿勢に、「共創」を掲げています。年齢、性別、職業、国籍などを問わず、様々な人が、語り合い、力を合わせ、共に行動していこうというものです。

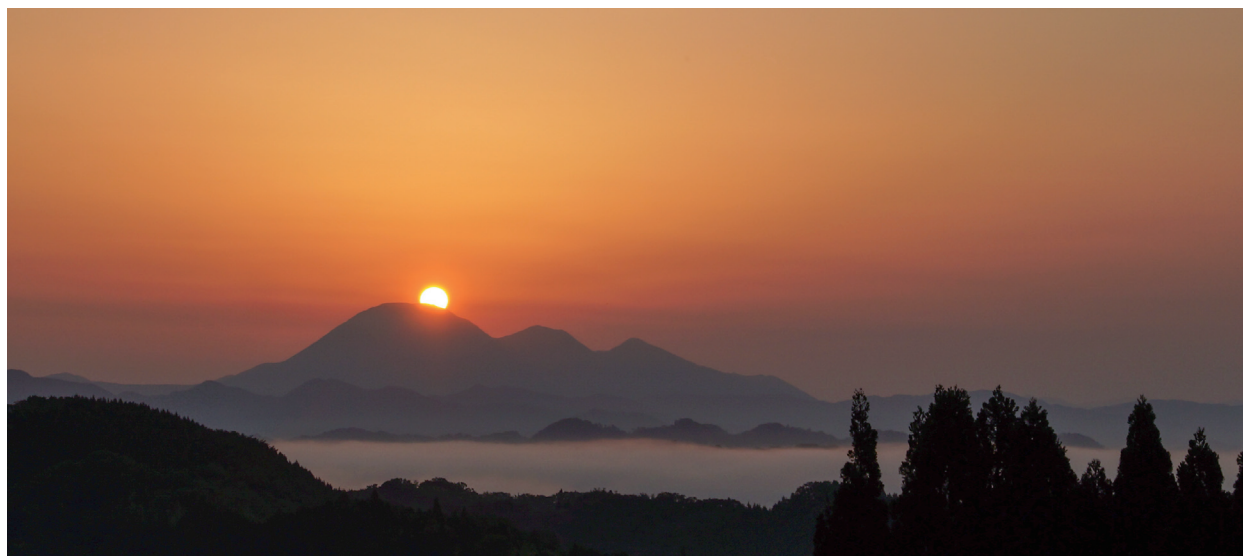
今、私たちを取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少が進む一方で、情報通信技術が急速に進歩するなど、大きく変化しています。

大田市においても、様々な課題を抱えているところですが、2020年の全国植樹祭の開催決定や山陰道の整備が市内でも進むなど、大田市の未来を照らす明るい動きがいくつもあります。

なにより、大田市には世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」や国立公園「三瓶山」など、たくさんの地域の宝があり、それは、私たちの誇りです。これらを守り活かすことで、未来への大きな可能性が広がります。

どうぞ市民の皆様、笑顔と夢があふれるこれからの大田市を、共に築いていきましょう。

平成31年3月



第1章 はじめに

1 計画策定の趣旨

本市は、平成17年10月の1市2町の合併を経て、平成18年度に「大田市総合計画」（平成19～28年度）を策定し、「自然・歴史・ひとが光り輝くだれもが住みよい県央の中核都市」の実現に向けてまちづくりを進めてきました。

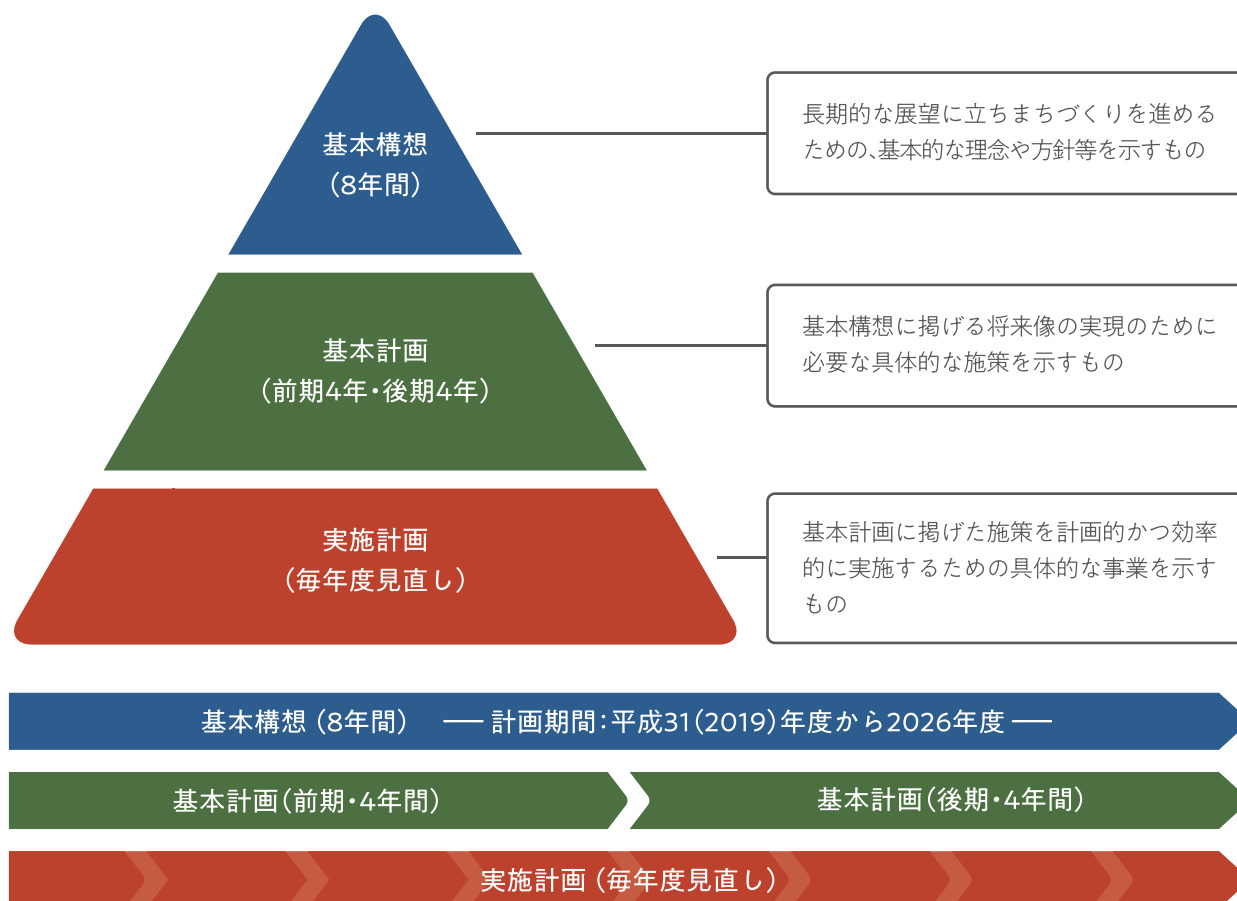
更に、平成29年度、平成30年度は改訂（2ヶ年延長）した総合計画のもとで、健康まちづくり、定住促進、安全・安心なまちづくりを、重点施策として取り組んできました。

この間、「石見銀山遺跡とその文化的景観」の世界遺産登録、2015住みたい田舎No.1（宝島社）の獲得、新大田市立病院建設の着手や山陰道の一部供用開始など、特筆すべき取り組みが進められてきました。

しかしながら、本市を取り巻く社会情勢は、社会・経済のグローバル化の進展、本格的な人口減少社会への突入など大きく変化しており、市民のニーズや価値観、地域の課題等も多様化・複雑化してきています。

これらの変化に対応しながら、市民・事業者・行政が「まちの将来像」を共有し、中長期的な施策を計画的に推進していくため、「第2次大田市総合計画」を策定しました。

2 計画の構成と計画期間



第2章 基本構想

1 基本理念

世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」を有する本市は、ユネスコの精神に基づき、「一人ひとりの人権が尊重される、心豊かな共生社会」の実現を目指しています。この人権尊重の視点を根底におきながら、次の3つを基本理念とし、市民・事業者・行政、本市に関わる全ての人が、共に行動し、持続可能なまちづくりに取り組みます。

かかわる

先人から受け継いだ、歴史・自然・文化などの様々な大田の宝を未来に引き継ぐため、一人ひとりが、我がこととして考え、多くの人と関わり、対話し、だれもが主体性を持って次世代につなげるまちづくりに取り組みます。

踏み出す

地域それぞれの魅力を活かし、新しい発想や、チャレンジ精神を持って、だれもが一步踏み出し、大田の未来を創造するまちづくりに取り組みます。

はぐくむ

私たち一人ひとりが行動し、このまちを育むことで、このまちもまた、私たちが育んでくれます。ふるさとを愛する気持ちを力に、未来に向かって、みんなで共に歩むまちづくりに取り組みます。

2 大田市の将来像

子どもたちの笑顔があふれ、 みんなが夢を抱けるまち“おおだ”

歴史と文化に恵まれた「世界遺産」と、自然あふれる「国立公園」のある我がまちは、日本にとどまらず、世界に誇れるまちです。

そこには、海あり山あり、美味しいものもあり、そして、会う人会う人に元気な挨拶をしてくれる子ども達があります。

このように、大田市には、たくさんの宝と未来への大きな可能性があります。もっと、いろんなことができるはず。

「こんなことしてみたい！」そんな時には、相談にのってくれる人がいて、応援してくれる人がいるまち。

「あがだな～」 「こがだ？」 「そがしょや！」 「やるかあ！」 みんなで話し合っ、みんなで協力してやってみようという雰囲気があるまち。いきいきと生きる大人たちの横では、子どもたちが笑顔で遊んでいることでしょう。

一人ひとりが幸せに向かって、多様な価値観を尊重し合いながら、様々な人たちがつながって、みんながいろんな夢を抱ける、そんなまちを目指します。

3 基本姿勢

「 共 創 」

目指す将来像の実現に向けて、子どもから高齢者まで、年齢、性別、職業、国籍などを問わず、様々な人が、一緒に楽しく夢を語り合いながらアイデアを創り、市民・事業者・行政、‘おおだ’に関わるすべての人たちが一緒に汗をかきながら、ひとつずつ形にしていく、そんな「共創」によるまちづくりを基本姿勢とします。

4 基本方針

「将来像」を実現するため、まちづくりに向けた基本方針として、Ⅰ産業づくり、Ⅱ豊かな心づくり、Ⅲ暮らしづくり、Ⅳ都市基盤づくり、Ⅴ自然・生活環境づくり、Ⅵ持続可能なまちづくりの6つを掲げ、それぞれの分野で人材の育成・確保を図りながら、各施策を展開していきます。

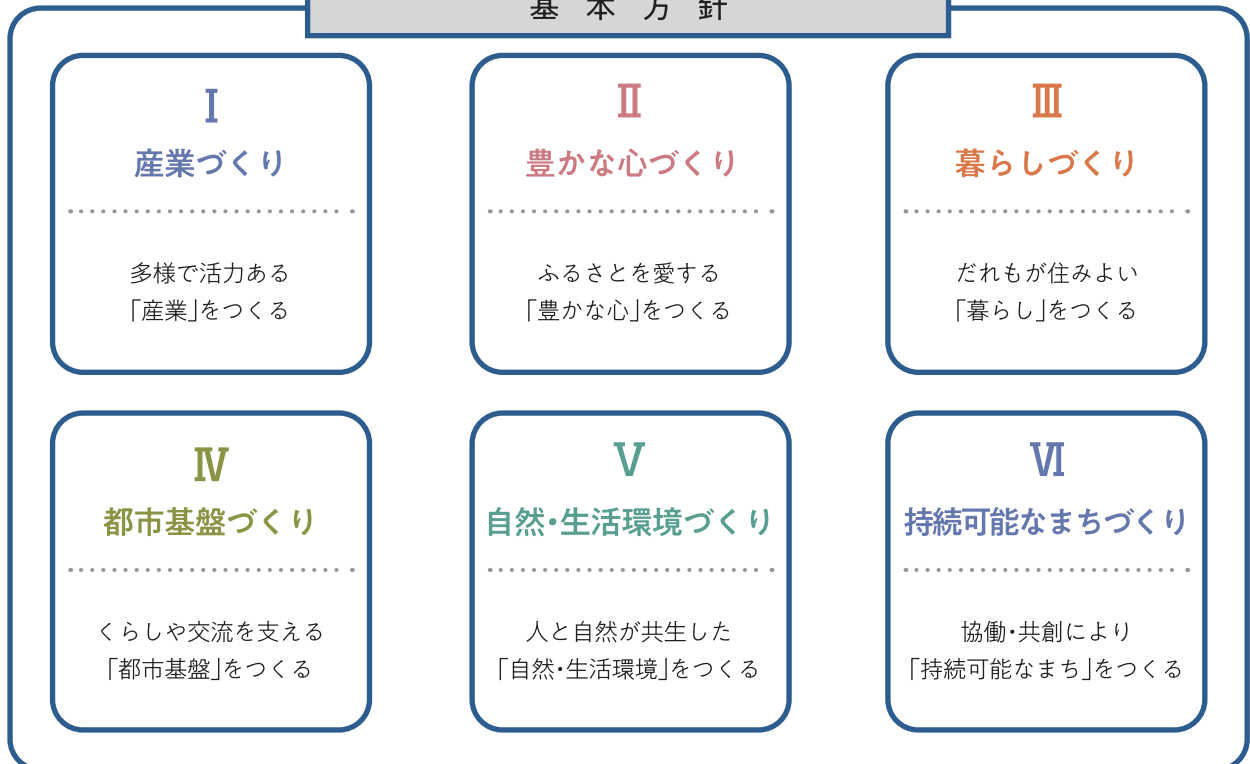
将 来 像

子どもたちの笑顔があふれ、
みんなが夢を抱けるまち“おおだ”

基 本 姿 勢

「 共 創 」

基本方針



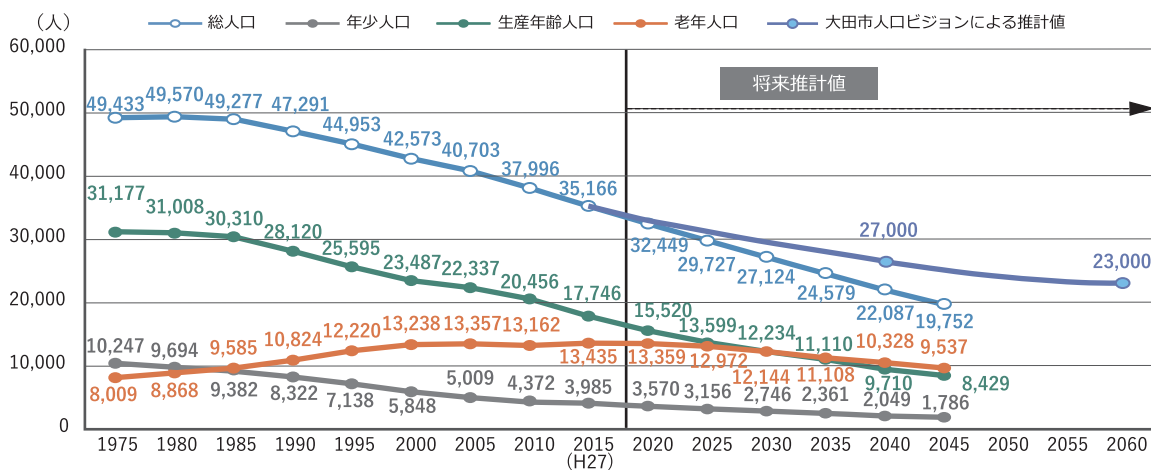
第3章 基本計画

1 序論

将来人口の予測

- ・本市の人口は1980年より減少を続けています。将来においても引き続き人口減少と少子高齢化が進むとみられ、市税や地方交付税などの収入の減少、地域を支える担い手の不足、産業活動の縮小など、地域から活力が奪われることが想定されます。
- ・本市では持続可能なまちを目指して、人口減少に歯止めをかけるため、さまざまな定住施策に取り組んでいます。

総人口と年齢3区分の人口の推移



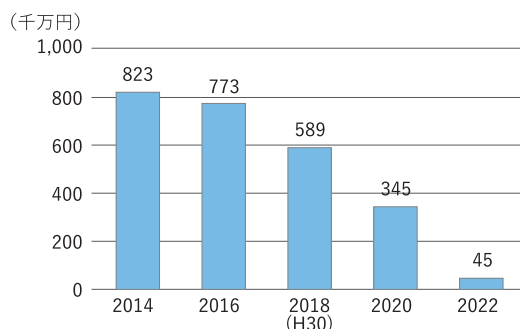
出典:1975年～2015年「2015年 国勢調査」実績値

出典:2020年～2045年「国立社会保障・人口問題研究所」推計値(平成30年3月推計)

財 政

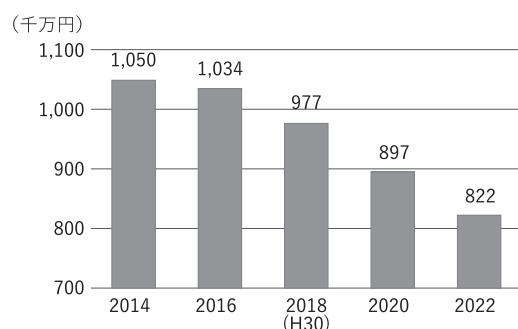
- ・これまで行財政改革に取り組み一定の成果を上げてきましたが、本市の貯金ともいえる基金残高は減少しており、依然として本市の財政見通しは極めて厳しい状況にあります。
- ・安定した公共サービスを提供していくためには、市民・関係機関・行政が一緒になって、大田市の活性化や、市税などの財源の確保と有効活用に取り組み、健全な財政運営を図っていく必要があります。

基金残高の推移と今後の見込み



平成30年度大田市中長期財政見通しより

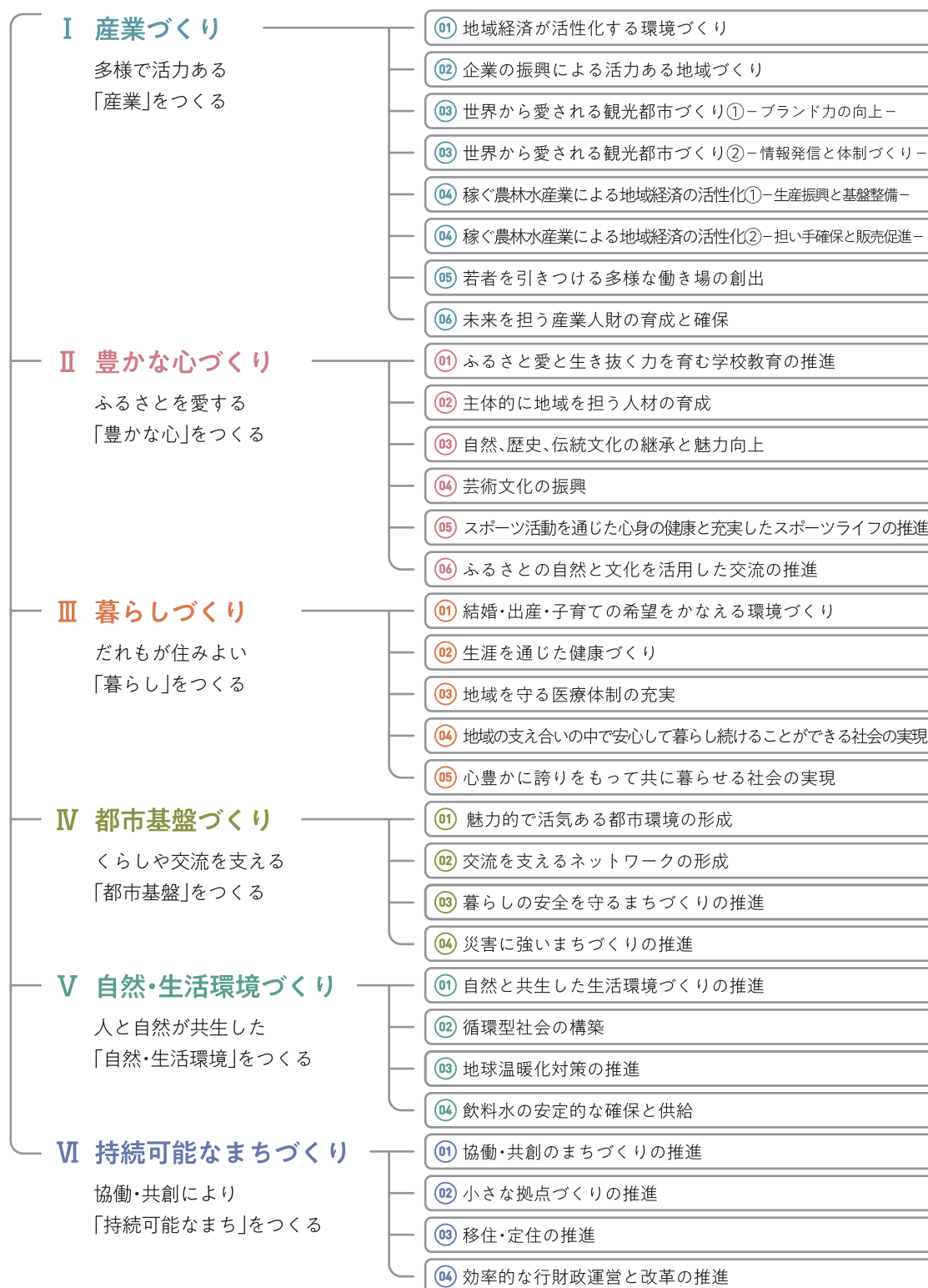
地方交付税の推移と今後の見込み



2 基本計画(前期)

基本構想において掲げた「大田市の将来像」の実現に向け、6つの柱（基本方針）のもと施策を構築し、今後4年間の基本計画（前期）とします。（計画期間：平成31（2019）年度～2022年度）

施策の体系図



I 産業づくり —多様で活力ある「産業」をつくる—

01 地域経済が活性化する環境づくり

地域経済の活性化に向けた環境整備により、地域産業全体を活性化させよう。

- 総合的な産業支援
- J R大田市駅前周辺の中心市街地の活性化
- 地域に愛される新たな道の駅整備
- 大田の魅力ある「食」による経済活性化



彼岸市

02 企業の振興による活力ある地域づくり

市内企業が元気な事業活動により、市内外の経済交流が促進し、市内経済がさらに活性化する好循環を生み出そう。

- 中小企業・小規模企業の振興
- 新産業・新ビジネスの創出
- 起業・創業の推進
- 事業承継の推進



販路拡大イベント

03 世界から愛される観光都市づくり

世界遺産と国立公園をあわせ持つというブランド力を最大限に活かし、観光を基点とした地域経済の活性化につなげよう。

—ブランド力の向上—

- 三瓶山観光戦略の再構築
- 石見銀山遺跡の活用
- 受け入れ環境整備とサービスの充実



国立公園「三瓶山」

—情報発信と体制づくり—

- 効果的な情報発信
- 観光人材の育成と体制づくり
- インバウンド(訪日外国人旅行)対策の推進



訪日外国人観光客

04 稼ぐ農林水産業による地域経済の活性化

経営・生産・販売を拡大・強化し、農林水産業を活性化させることで市内経済全体の活性化につなげよう。

－生産振興と基盤整備－

- 農業・畜産業の生産振興と生産基盤の整備
- 循環型林業の推進と林業・木材産業の成長産業化
- 沿岸漁業の活性化による水産業振興



和牛共進会

－担い手確保と販売促進－

- 担い手の確保・育成
- 特産品づくりと6次産業化・販路拡大
- 農林水産業を支える農山漁村の活性化

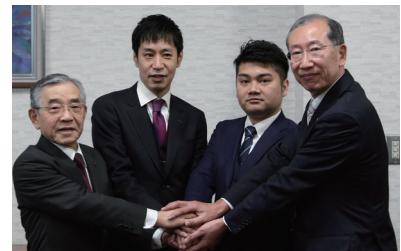


ブドウ栽培

05 若者を引きつける多様な働き場の創出

多様で魅力的な就業の場を創出し、若者を地域に定着させよう。

- IT企業・製造業などの企業誘致
- インフラ環境の充実



IT企業誘致

06 未来を担う産業人財の育成と確保

市内の経営者の県外・海外への事業展開や若者の地元企業での活躍を促進し、市内事業者の安定的かつ活発な事業展開を推進しよう。

- 地域経済をけん引する経営者の育成
- 企業を支える人財の育成と雇用確保対策



人財育成塾

Ⅱ 豊かな心づくり —ふるさとを愛する「豊かな心」をつくる—

01 ふるさと愛と生き抜く力を育む学校教育の推進

わが里を誇り、一人ひとりが自立・共生して、
持てる力を存分に発揮する子どもを育てよう。

- 教育の魅力化
- 教育機会の確保
- 教育環境の整備・充実



おおだ教育フォーラム

02 主体的に地域を担う人材の育成

大田を愛し、地域社会の担い手として、
誇りを持って、いきいきと生きよう。

- 学校・家庭・地域がともに進める人材の育成
- 地域の特性を活かした社会教育活動の充実
- 図書館機能の充実



公民館親子活動

03 自然、歴史、伝統文化の継承と魅力向上

わが里への関心と愛着、誇りを育み、次世代へ
引き継ぐとともに、市内外にその魅力を発信しよう。

- 自然、歴史、伝統文化の活用
- わが里を愛する意識の向上と人材育成
- “住み続ける遺産”の維持・保全
- 遺産の魅力向上



三瓶小豆原埋没林

04 芸術文化の振興

芸術文化に親しみ、心豊かに暮らそう。

- 交流を育む芸術文化活動の推進
- 芸術文化活動の創造
- 文化施設の充実



世界遺産登録10周年事業 オペラ石見銀山

05 スポーツ活動を通じた心身の健康と充実したスポーツライフの推進

スポーツライフの実現により、元気で活力のあるまちにしよう。

- 多様なスポーツ活動の推進
- 子どものスポーツ活動の推進と
スポーツ推進体制の強化
- スポーツに親しむ環境の整備



三瓶高原クロスカントリー大会

06 ふるさとの自然と文化を活用した交流の推進

豊かな自然環境、農山漁村の生活文化の活用により、幅広い交流を進め、多様な人材を育成・確保しよう。

- 関係人口の拡大
- 友好都市・姉妹都市との交流
- 山村留学の推進



山村留学



Ⅲ 暮らしづくり — だれもが住みよい「暮らし」をつくる —

01 結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり

地域全体で子育てを支援し、安心して子育てをしよう。

- 結婚支援、妊娠・出産の支援
- 保育環境の整備と充実
- 一人ひとりに合った子育て・子育て支援



保育所の活動

02 生涯を通じた健康づくり

市民自ら健康づくりに取り組もう。

- 市民一人ひとりの健康づくり
- 地域全体で取り組む健康づくり
- 健康まちづくりの推進



健康づくり

03 地域を守る医療体制の充実

住み慣れた地域で、安心して医療サービスを受けよう。

- 地域医療の確保・体制の充実
- 大田市立病院の医療提供体制の充実



新大田市立病院 完成イメージ図

04 地域の支え合いの中で安心して暮らし続けることができる社会の実現

住み慣れた地域で、自分らしく自立した日常生活を送ろう。

- 地域福祉の推進
- 高齢者福祉の推進
- 障がい者福祉の推進



高齢者憩いの場

05 心豊かに誇りをもって共に暮らせる社会の実現

市民一人ひとりが人権尊重の意義、さまざまな人権問題を理解し、だれもの尊厳を守ろう。

- 人権施策の推進
- 男女共同参画社会の実現
- 多文化共生社会の実現



多文化広場

IV 都市基盤づくり —くらしや交流を支える「都市基盤」をつくる—

01 魅力的で活気ある都市環境の形成

活気のある市街地づくり、暮らしやすい生活環境づくりを進めよう。

- 中心市街地の整備
- 計画的な土地利用の促進
- 街路・公園の整備
- 公共下水道などの整備
- 住宅・住環境の整備



J R大田市駅前

02 交流を支えるネットワークの形成

「ヒト」や「モノ」が活発に交流するためのネットワークの整備を進めよう。

- 道路ネットワークの整備
- 安全で快適な生活道路の確保
- 地域交通の維持・確保
- 情報通信網の整備・活用



山陰道「多伎・朝山道路」開通式

03 暮らしの安全を守るまちづくりの推進

安全の確保に取り組み、安心して暮らそう。

- 消防・救急体制の充実強化
- 防犯・交通安全活動の推進
- 消費者の安全・安心の確保



消防隊員訓練

04 災害に強いまちづくりの推進

市民・地域・行政が共に防災へ取り組み、生命・財産を守ろう。

- 防災体制の充実と強化、防災意識の啓発
- 治山・治水対策の推進



救護訓練

01 自然と共生した生活環境づくりの推進

市民みんなで自然を守り、親しもう。

- 自然環境の保全
- 生活環境の保全
- 景観の形成

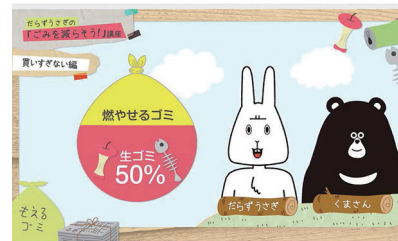


クリーン三瓶

02 循環型社会の構築

ごみの減量化やリサイクルを進めよう。

- ごみの減量化、リサイクルの推進
- ごみ・し尿処理対策と処理施設の整備



だらずさぎの「ごみを減らそう」講座 買わずさない編

啓発映像

03 地球温暖化対策の推進

省エネと再生可能エネルギーの普及を進めよう。

- 総合的な温暖化対策の推進
- 省エネ、再生可能エネルギーの普及



グリーンカーテン

04 飲料水の安定的な確保と供給

安全・安心な水を守ろう。

- 水道施設の維持管理と安定した事業経営
- 老朽化した水道管や水道施設の改良・更新
- 水道未普及地域における飲料水の確保



三瓶浄水場

Ⅵ 持続可能なまちづくり —協働・共創により「持続可能なまち」をつくる—

01 協働・共創のまちづくりの推進

市民・団体・事業者・行政が、企画段階から連携し大田の新しい魅力や価値を共に創ろう。

- 協働・共創の推進
- 協働・共創を支える市政の見える化と情報発信



市民と市長の意見交換会

02 小さな拠点づくりの推進

住み慣れた地域で、住み続けよう。

- 地域課題解決の仕組みづくり
- 地域運営組織の育成
- まちづくり参加機会の充実
- 拠点施設の整備



まちづくり活動

03 移住・定住の推進

魅力や情報を発信し、定住人口を増やそう。

- 若者・女性の定住推進
- ふるさと回帰への取り組み
- さまざまな媒体や機会を利用した情報発信
- 空き家バンクの活用促進
- ふるさと納税の推進



25歳同窓会

04 効率的な行財政運営と改革の推進

効率的な行政運営と健全な財政運営を行う。

- 行財政改革の推進と健全な財政運営
- 職員の意識改革と育成
- 公共施設の適正化



行財政改革の推進

【市の花】



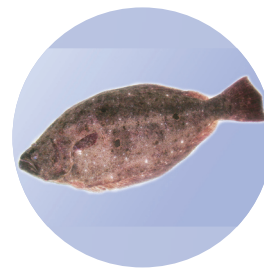
れんげつつじ

古くから国立公園「三瓶山」などに
自生する鮮やかなオレンジ色の花。
厳しい風雪に耐え、初夏に開花する。

【市の魚】

ひらめ

さっぱりとした美味しい白身は
大田市民にも馴染み深い。
稚魚の放流が実施されている。



【市の木】



うめ

江戸時代、うめの実は世界遺産
「石見銀山」で働く人たちの
健康を維持し、
鉍毒を防ぐ薬として使用された。

【市の愛唱歌】

0854-8

合併10周年時（平成27年）において作成。
宮根誠司作詞、近藤夏子作曲。
著作権は市に寄贈されている。



第2次大田市総合計画 2019 - 2026【概要版】

発行 平成31(2019)年3月
島根県大田市
〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111 TEL.0854-82-1600
<http://www.city.ohda.lg.jp/>
(大田市 政策企画部政策企画課)



おおだし
大田市
島根県